

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

福井市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

福井市

3 地域再生計画の区域

福井市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、1995年の27.3万人をピークに減少し続けている。2015年国勢調査で26.6万人であった人口が、2040年には2.4万人減の24.2万人（2015年比9%減）まで減少することが見込まれている。なお、2020年国勢調査においては26.2万人となっている。

自然動態については、2020年において▲1,046人となっている。また、社会動態については、2020年において▲487人となっている。

人口の減少は、出生数の減少（自然減）や、全国的に東京への人口一極集中の傾向が強まる中、東京都への転出超過数がこの5年で約2倍に拡大（社会減）したことなどが原因と考えられる。

人口減少・少子高齢化の進行により、本市においても、地域のコミュニティ機能の希薄化などによる地域活力の低下、ものづくり産業や農林水産業などの担い手不足による地域経済の衰退などが懸念されている。

これらの課題に対応するため、若い世代の男女が出会うきっかけづくりや、結婚、出産に対して希望が持てる施策展開、子育ての面でのサポート等を行い、合計特殊出生率の向上につなげる。また、若者の転出超過が大きいことから、若者にとって魅力ある仕事やまちづくりを進めるとともに、UIターン施策の集中的な展開に加え、将来的な移住に向けた裾野を広げる観点から、関係人口の増加を目指したアプローチ等を通じて、社会減に歯止めをかける。具体的な取組は、下

記の基本目標に則って行う。

- ・基本目標1 「交流」「対流」「還流」、福井への三つの人の流れづくり
- ・基本目標2 一人ひとりの結婚、出産、子育ての希望がかなう環境づくり
- ・基本目標3 新たな雇用の創出と働きがいのあるまちづくり
- ・基本目標4 時代に合った住みよさ一流のまちづくり

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始 時点)	目標値 (2023年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	市内観光客入込数	419万人	500万人	基本目標1
	転入・転出者数の均衡化	▲153人	▲50人	
イ	合計特殊出生率	1.62	1.74	基本目標2
ウ	新規就業場所創出数	1,000人	960人	基本目標3
エ	福井市に住み続けたいと思 う市民の割合（市民意識調査 の結果）	87.2%	89.4%	基本目標4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

全国に誇れる希望と安心のふくい実現プロジェクト

ア 「交流」「対流」「還流」、福井への三つの人の流れづくり事業

イ 一人ひとりの結婚、出産、子育ての希望がかなう環境づくり事業

ウ 新たな雇用の創出と働きがいのあるまちづくり事業

エ 時代に合った住みよさ一流のまちづくり事業

② 事業の内容

ア 「交流」「対流」「還流」、福井への三つの人の流れづくり事業

- ・一乗谷朝倉氏遺跡をはじめとする本市の歴史・文化資源など、福井ならではの地域資源の磨き上げにより交流人口の拡大を図る。
- ・ふるさと納税や福井市応援隊などの取組を通じて全国に本市のファンを増やしていくとともに、恵まれた自然環境など本市の地域資源を活かした新しい働き方、暮らし方を提案していくことなどにより、本市と他地域との間で持続的な人口の対流を創出する。
- ・子どもの頃から地元福井の良さや、市内企業について知る機会を設けていくほか、高校生や大学生、社会人などへのきめ細やかな就職支援を行う。また、県や周辺市町とも連携して福井での住みよさの情報発信を強化し、住まいの確保や移住にかかる経済的負担の軽減などにも取り組み、本市への人材還流を促進する。
- ・北陸新幹線の福井開業に向けたプロモーションを強化するとともに、福井を訪れる方へのおもてなしを充実し、観光や関係人口、移住定住など、様々な形での福井への人の流れの拡大につなげる。

イ 一人ひとりの結婚、出産、子育ての希望がかなう環境づくり事業

- ・結婚を希望する若者がその希望を実現できるような支援を充実させるほか、安心して妊娠・出産・子育てができるよう、子育て環境の整備と妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の充実を図る。
- ・安心して子どもを預けられる環境の充実や福井の共働きを支える保育人材の確保等、家庭や地域全体で子どもを支える環境づくりや子育て応援の取組を推進する。
- ・女性が個性と能力を十分に発揮しながら活躍できる環境整備や、男女がともに仕事と家庭の両立ができる環境づくりなどを行う。
- ・全国トップクラスの小中学生の学力の更なる向上を目指し、きめ細かな指導を通して学ぶ意欲を引き出し、知識や技能を活用して思考力・判断力・表現力を育み「確かな学力」の育成を図るとともに、グローバル化や情報化への対応などにも取り組み、子どもたちが将来への希

望を持てる教育環境づくりを推進する。

ウ 新たな雇用の創出と働きがいのあるまちづくり事業

- ・ 繊維産業を始めとする福井の伝統のものづくり技術の高度化に向けて、新製品の開発や新分野への展開などの新たなチャレンジを支援するとともに、ものづくり技術が今後もしっかりと受け継がれるよう、事業継承による技術の伝承や、知的財産権の活用に取り組む。
- ・ 地域経済を牽引する中核企業の育成や、魅力ある産業育成につながる企業立地を推進するとともに、熱意ある若者等の夢を応援する創業支援を推進することで、新たな雇用創出を図る。
- ・ 先端技術の導入・活用を積極的に促進し、市内産業の生産性向上を推進するとともに、働き方に関する企業や労働者の理解促進を図り、就業機会の拡大や意欲・能力を発揮できる環境づくりを促進し、働きがいの向上を図る。
- ・ 農林水産物のブランド化や6次産業化に向けた取組を強化するとともに、ICT（情報通信技術）やAI（人工知能）の利活用などにより収入の安定と向上を図る。

エ 時代に合った住みよさ一流のまちづくり事業

- ・ ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョンの推進や中枢中核都市への支援制度等の活用により圏域全体の発展を見据えた取組を進める。
- ・ 本市の豊かな自然環境を守り育てて未来につなげるため、環境教育や保全活動への支援等を行い、自然環境の維持向上を図るとともに、空き家の利活用促進を図り、良好な生活環境の保全を図る。
- ・ 県都の玄関口にふさわしい都市機能の集積を図るとともに、地域住民が主体となって取り組む将来像づくりや地域課題解決に向けた活動、人口減少が進む農山漁村部の維持・活性化に向けた取組を支援し、市全域の地域コミュニティの維持・強化を図る。
- ・ 多文化共生の取組をさらに強化し、外国人にとっても暮らしやすいまちづくりを進めていくとともに、アクティブシニアの活躍の場の拡大や、地域での相談支援体制の充実等を図り、みんなが輝く、誰もが安心して暮らせる共生社会を推進する。

※ なお、詳細は第2期福井市総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

1,328,400千円（2020年度～2023年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度9月に、大学、金融機関、関係行政機関、市民団体等の有識者から構成する福井市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略有識者会議メンバーによる検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに福井市のホームページ等にて公表する。

⑥ 事業実施期間

2020年4月1日から2024年1月に申請した地域再生計画の変更の認定の日まで

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当なし

6 計画期間

2020年4月1日から2024年1月に申請した地域再生計画の変更の認定の日まで